

# 記載例（交付申請の場合） 平成22年4月1日以降の様式

国で発行する**1,700円分の収入印紙**を貼布する。1,700円を超える場合は、赤字で「**過納承諾**」と記載し、押印する。収入印紙は郵便局等で購入できます。

申請前6ヶ月前以内に撮影した**無帽・正面・上三分身・無背景**の縦30mm、横24mmのものを糊で貼る。セロハンテープは不可。  
(写真裏面に申請資格および氏名を記入)

総務大臣 殿

収入印紙ちよう付欄  
(この欄にはりきれないときは、他を裏面下部にはってください。また、申請者は消印しないでください)

(収入印紙を必要額を超えている場合は、申請書の余白に、「過納承諾 氏名趣」のように記入・押印してください)

電気通信主任技術者資格者証交付申請書

平成22年 ○月 ○日

郵便番号 **860-8795**

住所 **熊本市二ノ丸1-4 ○○コーポ ○○号**  
**山田 次郎 (方) 電話(日中の連絡先) 090-x x x-x x x x**

氏名	フリガナ(姓) <b>キュウシュウ</b>	(名) <b>タロウ</b>
	漢字(姓) <b>九州</b>	(名) <b>太郎</b>

氏名を自筆で記入したときは、押印を省略できます。

生年月日 **S 3 0 0 1 0 7**

申請書の提出日を記入する。

本人の住所を記入する。

携帯電話等、平日昼間に連絡の取れる番号を記入する。

氏名を記入する。自筆で記入した場合は押印は不要。

住民票コード等を記入しない場合は、氏名及び生年月日を証明する書類を添付し、添付資料欄の1に○をつけること。

下の欄に住民票コード又は現に有する電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証若しくは無線従事者免許証の番号のいずれか1つを記入した場合は、氏名及び生年月日を証する書類の提出を省略することができます。

記入した番号の種類(いずれかの口にレ印を記入してください。)

住民票コード(11桁)

電気通信主任技術者資格者証の番号

工事担任者資格者証の番号

無線従事者免許証の番号

1 2 3 4 5 6 7 8 9 0 1 (左詰め記入)

資格者証の交付を受けたいので、電気通信主任技術者規則第39条の規定により、(別紙書類を添えて)申請します。

申請資格	A 試験合格	受験番号 <b>99K1234567</b> <b>H22年4月</b> 日合格		
	B 養成課程修了	養成課程の名称		
	C 総務大臣認定	修了証明書の番号 (年月日修了)		
		認定番号 (年月日認定)		
申請の区分	A 伝送	B 無線	C 交換	D データ通信
	E 通信電力	F 通信線路	G 通信土木	H 水底線路
専門的能力の種類				
添付書類	1 氏名及び生年月日を証する書類(住民票コード又は現に有する電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証若しくは無線従事者免許証の番号を記載しない場合) 2 養成課程修了証明書			

試験合格の場合、受験番号と合格年月日を記入する。

申請資格の記号に○をする。

該当する専門能力の記号に○をする。

※ 試験に合格した日、養成課程を修了した日又は総務大臣による認定を受けた日から3ヶ月以内に申請してください。  
 ※ 写真の裏面には、申請に係る資格及び氏名を記載してください。  
 ※ 氏名及び生年月日を証する書類は、戸籍謄本又は戸籍抄本、住民票の写し、住民票の記載事項証明書、印鑑証明書等の公的書類を添付してください。なお、これらのコピーは原本と相違ないことが確認できない場合は認められません。  
 ※ 資格者証の郵送を希望するときは所要の郵便切手をはり、申請者の郵便番号、住所及び氏名を記載した返信用封筒を添えて、信書便の場合はそれに準じた方法により申請してください。

(日本工業規格A列4番)

**【申請できる資格】**

1 電気通信主任技術者試験に合格した資格の交付申請

2 養成課程で、基準に適合するものであることの認定を受けているものを修了した者が、修了した資格の申請を行う場合

電気通信主任技術者資格者証交付申請書

年 月 日

総務大臣 殿

収入印紙ちょう付欄

(この欄にはりきれないときは、他を裏面下部にはってください。また、申請者は消印しないでください)

(収入印紙を必要額を超えている場合は、申請書の余白に、「過納承諾 氏名印」のように記入・押印してください)

写真ちょう付欄

- 1 申請者本人が写っているもの
- 2 正面、無帽、無背景、上三分身で6ヶ月以内に撮影されたもの
- 3 縦30mm×横24mm
- 4 写真は資格者証に転写されるので、鮮明なものを枠からはみ出さないようにしてください

郵便番号 \_\_\_\_\_

住 所 \_\_\_\_\_

(方) 電話(日中の連絡先)

氏名	フリガナ(姓)	(名)	印
	漢字(姓)	(名)	

氏名を自筆で記入したときは、押印を省略できます。

生年月日 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

下の欄に住民票コード又は現に有する電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証若しくは無線従事者免許証の番号のいずれか1つを記入した場合は、氏名及び生年月日を証する書類の提出を省略することができます。

記入した番号の種類(いずれかの□にレ印を記入してください。)

<input type="checkbox"/>	住民票コード(11桁)
<input type="checkbox"/>	電気通信主任技術者資格者証の番号
<input type="checkbox"/>	工事担任者資格者証の番号
<input type="checkbox"/>	無線従事者免許証の番号

(左詰めで記入)

資格者証の交付を受けたいので、電気通信主任技術者規則第39条の規定により、(別紙書類を添えて)申請します。

申請資格	
A	伝送交換
C	線路

申請の区分	A	試験合格	受験番号	_____	( 年 月 日合格)				
	B	養成課程修了	養成課程の名称						
			修了証明書の番号	( 年 月 日修了)					
C	総務大臣認定	認定番号	( 年 月 日認定)						
専門的能力の種別		A	伝送	B	無線	C	交換	D	データ通信
		E	通信電力	F	通信線路	G	通信土木	H	水底線路
添付書類		1 氏名及び生年月日を証する書類(住民票コード又は現に有する電気通信主任技術者資格者証、工事担任者資格者証若しくは無線従事者免許証の番号を記載しない場合) 2 養成課程修了証明書							

- ※ 試験に合格した日、養成課程を修了した日又は総務大臣による認定を受けた日から3ヶ月以内に申請してください。
- ※ 写真の裏面には、申請に係る資格及び氏名を記載してください。
- ※ 氏名及び生年月日を証する書類は、戸籍謄本又は戸籍抄本、住民票の写し、住民票の記載事項証明書、印鑑証明書等の公的書類を添付してください。なお、これらのコピーは原本と相違ないことが確認できない場合は認められません。
- ※ 資格者証の郵送を希望するときは所要の郵便切手をはり、申請者の郵便番号、住所及び氏名を記載した返信用封筒を添えて、信書便の場合はそれに準じた方法により申請してください。

注1 生年月日は、次により記載すること。

(1) 年号は、明治はM、大正はT、昭和はS、平成はHと記入すること。

(2) 年月日のいずれかの数字が1けたの場合は、当該1けたの数字の前に0を付して2けたにして記入すること。

(記載例)

生	年	月	日	S	2	1	0	1	0	9
---	---	---	---	---	---	---	---	---	---	---

2 申請資格の欄は、該当する資格の記号1つを○で囲むこと。

3 申請の区分の欄は、該当する区分の記号1つを○で囲み、必要事項を記入すること。

4 専門的能力の種別の欄は、該当する種別の記号1つを○で囲むこと。

5 添付書類の欄は、該当する事項の数字を○で囲むこと。